

健康メディカル学部 臨床心理学科

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各学科・コースは、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー、以下CP）に基づき、それぞれの特色を活かした教育方法による授業を行っています。さらに、資格取得科目の充実など、教育方法に工夫を重ねながら、教育内容の向上に取り組んでいます。また、大学全体として、全学部生が共通して履修する必修科目、「フレッシュセミナー」「アドバンスセミナー」においては、少人数教育を実践しています。セミナー担当教員は、各学部・学科・コースのCPに基づく学修指導の他、学生生活全般にわたる指導を行っています。これにより学生は、社会人として求められる常識や教養等の汎用的能力と、各自の専攻分野や関心領域に関わる幅広い知識をバランス良く身につけることができます。この「セミナー」は、キャリア教育の一環として、学生の様々な相談にも応じています。

【教育方法】

本学科では、自己理解・他者理解を深めるとともに、社会に役立つ「心のスペシャリスト」として臨床や地域で求められる実践力を身につけるための教育を行います。

1・2年次には、一般的な教養や臨床心理学の基礎を学び、「フレッシュセミナー」では、学生が自らの人間性や将来のキャリアについて考える機会を多く持てるようにしています。3年次からは進路別に分かれ、専門分野の知識・技術を習得させ、将来に向けての具体的な準備を行うように指導しています。

【教育の特色ある工夫】

- ・人間理解に関する知識を深め、複雑な現代社会に貢献できるよう、特に1、2年次の「セミナー」では、マナーやコミュニケーション能力の向上と、将来のキャリア形成の動機づけに力を入れています。
- ・3年次の「臨床心理学研究Ⅰ・Ⅱ」では、少人数のゼミ形式の演習を行い、研究の基礎を学ぶと同時にプレゼンテーションやディスカッションの能力を磨いています。そしてそれを4年次の「卒業研究」に繋げています。
- ・学科創設以来、学生にボランティア活動を推奨しており、社会との繋がりをもつ様々な活動を通して臨床心理学の学びを深めています。
- ・公認心理師養成カリキュラムの「心理実習」「心理演習」を充実させるため、2年次において本学独自の「地域援助演習Ⅰ・Ⅱ」を設け、実践力を身につけます。